

地域密着型金融の取り組み状況

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

平成22年 5月

遠軽信用金庫

当金庫の地域密着型金融（リレーションシップバンキング）は、金融庁の金融審議会報告書「地域密着型金融の取り組みについての評価と今後の対応について―地域の情報集積を活用した持続可能なビジネスモデルの確立を―」において、恒久的な枠組みとして推進すべきとの提言がなされことを踏まえ、3か年長期経営計画「えんしん『つなぐ力』発揮2009～新たな価値の創造と地域の持続的な発展を目指して～」及び「平成21年度事業計画」の基本方針に掲げ、お取引先企業への支援及び地域経済への貢献に向けて取り組んでおります。

今般、平成21年度における取り組み状況を報告いたします。

1. 全体的な取り組み状況

地域密着型金融の全体的な取り組み状況は、3か年長期経営計画「えんしん『つなぐ力』発揮2009～新たな価値の創造と地域の持続的な発展を目指して～」及び「平成21年度事業計画」の具体的施策に基づき、概ね計画どおり実施いたしました。

重点事項毎の取り組み概要は、次のとおりであります。

(1) ライフスタイルに応じたお取引先企業の支援の一層の強化

お取引先企業の資金繰り支援や条件緩和などの経営支援活動を積極的に推進いたしました。とりわけ、事業先をリストアップのうえ訪問活動を実施し、業況の把握や資金繰り支援に努めたほか、延滞中や条件緩和を希望しているお取引先に対しましては、ヒアリングを行い条件緩和について柔軟に対応いたしました。

また、経営相談会や若手経営者交流会などを開催し、お取引先の経営力強化に努めました。

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめお取引先企業に適した資金供給手法の徹底

担保及び保証に過度に依存しない融資スタンスについて「クレジットポリシー」に明記し、勉強会などにより周知徹底いたしました。

また、目利き力向上に向けた研修等への職員派遣を継続するなど人材育成にも努めました。

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

北見工業大学を核とする産学官連携推進会議に参加し、中小企業への具体的支援事例などの情報集積に努めましたほか、遠軽地方景況レポートなどの有用な経営情報の提供に努めました。

2. 進捗状況に対する評価

(1) 計画に掲げた取組みの実施状況は、総じて順調と評価しております。特に、既往事業資金取引先を対象として、10月から11月に699先、1月から3月に721先の訪問活動を展開し、業況の把握や資金繰りについて支援することができたほか、条

件緩和についても柔軟に対応することができたものと評価しております。

また、個人保証に過度に依存しない融資に関する取り組みにつきましては、「クレジットポリシー」の浸透に努めたほか、キャッシュフローを重視する融資・審査スタンスを継続できたものと評価いたします。

なお、平成21年度からの新たな取り組みとして、中小企業診断士による個別の経営相談会を5店舗において開催したほか、「遠軽地方若手経営者交流会」や「えんしん経営強化セミナー」を開催し、参加者から高い評価をいただくことができました。

(2) 経営改善支援等の取り組み実績につきましては、地域経済の悪化等によりランクアップした先は無く、ランクダウンした先は3先でした。

3. 取組み状況の詳細

具体的な項目毎の取組み状況の詳細は、別添「地域密着型金融の取組み状況表（21年4月～22年3月）」及び「経営改善支援の取組み実績」のとおりであります。

地域密着型金融の取り組み状況表

(平成21年4月から平成22年3月)

項 目	取 組 み 状 況
ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化	
創業・新事業支援	
<ul style="list-style-type: none"> ○ アパート創業及びメディカル開業などの融資支援 アパート創業及びメディカル開業について、ハウスメーカーや医療機器販売会社等から情報を収集し、堅実な事業経営のノウハウについて提供を行うものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アパート創業及びメディカル開業資金の平成21年度の支援実績は、アパートローン創業9件209百万円、メディカル創業3件176百万円でありました。 ○ アパート創業は、先数、金額とも前年を下回り低調でありましたが、メディカル創業資金は先数、金額とも前年を上回り堅調であったと評価しています。また、アパート市場が供給過剰の傾向であることや他行との競合が激化しているため、融資案件が減少傾向にあります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 商工会議所、商工会と提携した創業支援資金融資制度の活用促進 ネットワークを広げ、基盤地区の創業先等の資金ニーズにきめ細かく対応するものであり、創業支援資金「チャレンジ」は、遠軽商工会議所、えんがる商工会、上湧別町商工会、湧別町商工会及び佐呂間町商工会と提携して推進するものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基盤地区の低調な経済環境を反映して、平成21年度の活用実績は、1件300万円にとどまりました。 ○ 創業が極めて少なく、資金ニーズが乏しい状況にあり、低調な結果でありましたが、商工会議所及び各商工会との連携を密にし、案件発掘に努める方針であります。
経営改善支援	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 貸出条件緩和への取り組み 平成20年11月7日の金融検査マニュアルの改訂に伴い、中小企業の資金繰り逼迫や所得の減少に伴う返済負担率の増加に対し、既存貸出の条件変更等により柔軟に対応するものであり、延滞中、延滞気味及び条件緩和を要望している債務者とヒアリングを行い、合理的で実現可能性の高い経営改善計画書を策定するなどにより、可能な限り貸出条件の変更に応じるものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成21年度中の貸出期限延長等条件緩和を行った貸出は、119件、2,254百万円でありました。 ○ 金融検査マニュアルの改訂に沿った活動により、十分な成果があったと評価しております。また、金融円滑化法の施行に伴い、今後は金融円滑化の観点から引き続き可能な限り、支援を目的とした貸出条件変更等を行っていく方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営相談・支援業務の継続 厳しい地域経済環境を踏まえ、取引先企業の経営改善支援の取り組みを継続し、不良債権の増加抑制に努めるものであり経営支援先を前年度の19先から今年度30先に拡大し、経営改善指導に努めるものであります。 なお、経営改善支援方法の充実策として、1先を選定のうえ、「経営再生プラン」を選定し、実行中であります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成21年度においては、経営支援先30先のうち債務者区分をランクアップした先はなく、業況悪化等によりランクダウンした先が3先でありました。 ○ 平成21年度においては、経済環境の停滞から債務者区分のランクアップがなく、成果をあげることができませんでしたが、平成22年度は、経営支援先をさらに拡大し、充実した支援活動を行っていく方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 資金繰り支援 既往取引先に対して業況の聞き取りを行い、資金繰り支援の検討及び金融円滑化に対応した貸出条件の変更等必要な措置を行い、取引先の安定経営を図るものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成21年度中においては、既往事業資金取引先を中心とした一斉訪問活動を2回実施し、取引先の資金ニーズ等の把握に努めた結果、訪問件数1,420先のうち、貸出実行35先、701百万円、条件変更申込先24先でありました。当金庫から能動的にアクションを起したことにより、取引先の資金ニーズに迅速な対応が図られ、また、当金庫に対する信頼が深まったと評価しております。 ○ 当面、地域経済の停滞が続くことが予想されることから、引き続き業況を把握するための一斉訪問活動を実施していく方針であります。

項 目		取 組 み 状 況
	<p>○ 経営相談会の開催 経営相談会の開催は、当金庫が地域力連携拠点事業のパートナーとなり、基盤地区の中小企業の課題解決に寄与するためであり、当金庫が活用する地域力連携拠点は、経済産業省の委託を受けた社団法人中小企業診断士会とし、相談を希望する債務者の該当店舗に中小企業診断士を招き、経営相談会を開催するものであります。</p>	<p>○ 平成21年度は、5店舗15名（社）の個別相談会を開催し、個別相談を受けた取引先からの評価は高く、継続して実施してほしいとの依頼があり、経営相談会の効果を高く評価しています。</p> <p>○ 平成22年度においても経営相談会の実施回数を増やし、継続して実施していく方針であります。</p>
	<p>○ 「遠軽地方若手経営者交流会」や「えんしん経営強化セミナー」の開催 若手経営者に講演会及び交流会を通じて交流の機会を提供し、経営者としての素養と見識を高めるとともに企業の事業発展に寄与するために「遠軽地方若手経営者交流会」を企画・開催するものであります。 また、「えんしん経営強化セミナー」は、遠軽地方の経営者に財務データなどから経営情報を客観的に把握し、具体的な経営強化策を立案するノウハウの提供に努めるものであります。</p>	<p>○ 遠軽地方若手経営者交流会は平成21年11月、26名に参加いただき、「これからの中小企業経営 ～環境変化に打ち勝つために～」と題して講演会を開催した後、懇親会を開催し交流の機会を提供いたしました。また、えんしん経営強化セミナーは平成22年2月、20名に参加いただき、財務データ分析やグループによる事例研究を行いました。その結果、参加者からの評価は高く、継続して実施してほしいとの要望があり、実施効果を高く評価しております。</p> <p>○ 平成22年度においても、継続して実施していく方針であります。</p>
事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み		
	<p>○ 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資 目利き力向上により債務者に過度な負担をかけない円滑な融資を行うものであり、「クレジットポリシー」等の勉強会を開催し、「担保及び保証は、安易に又は過度に依存しない。」旨、周知徹底するものであります。</p>	<p>○ 平成21年度は10月及び1月に勉強会を2回開催し、「担保及び保証は、安易に又は過度に依存しない。」旨、周知徹底しました。平成19年12月から無担保リフォームローンの取り扱いを開始し、推進しておりますが、平成21年度の実績は10先25百万円であり、実績は、少ないものの、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資スタンスは、浸透しつつあると評価しております。</p> <p>○ 今後も継続して「クレジットポリシー」等の勉強会を開催し、目利き力の向上を図っていく方針であります。</p>
目利き能力の向上、人材の育成		
	<p>○ 目利き力の向上、人材の育成 職員の審査能力の向上を図り、中小企業金融に関する経営相談機能の拡充を目指すものであります。</p>	<p>○ 平成21年度中に北信協が主催する中小企業金融に関する講座への3名の職員を派遣いたしました。年々、目利き力養成講座等を受講した職員が増加し、人材の育成がなされているものと評価しております。</p> <p>○ 今後も計画的に職員を派遣し、人材の育成に努めます。</p>

項 目	取 組 み 状 況	
地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 産学官金の連携強化による地域経済活性化に向けた多様なサービスの提供 地域金融機関として、ネットワークを広げ専門家、専門機関と連携し、地域経済の活性化に取り組むものであり、北見工業大学地域共同センター産学官連携推進委員・協力員合同会議に出席し、情報の集積を図るものがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「R&Bパーク札幌大通サテライト」(以下「H i N T」という。)が作成したパンフレット等を店頭へ備え置き、お客様から製品開発等の相談があった場合は、H i N Tの取り組みを紹介する体制としており、お取引先の製品開発や技術改良等の課題を研究機関に繋げる体制を構築しつつあると評価しております。 ○ 今後は、お取引先の相談ニーズの把握に努める方針であります。 	
地域活性化につながる多様なサービス提供		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 遠軽地方景況レポートなどの有用な経営情報の提供 取引先企業への有用な経営情報の提供に努めるものであり、信金中央金庫が取りまとめる「中小企業景況レポート」と、当金庫が作成する「遠軽地方景況レポート」を調査対象先等へ配布するものであります。 また、「遠軽地方景況レポート」は、ホームページに掲載します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四半期毎に、「中小企業景況レポート」及び「遠軽地方景況レポート」を調査対象先等へ配布するとともに「遠軽地方景況レポート」については、ホームページに公表し、お取引先企業に有用な経営情報が提供できたものと評価しております。 ○ 今後も「遠軽地方景況レポート」の内容充実に努める方針であります。 	

経営改善支援等の取組み実績

【21年4月～22年3月】

(単位:先数)

(単位:%)

	期初 債務者数	うち 経営改善支 援取組み先 数	(単位:先数)			経営改善 支援取組 み率	ランクア ップ率	再生計画 策定率
			α のうち期 末に債務者 区分がラン クアップした 先数	α のうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった先 数	α のうち再 生計画を策 定した先数			
	A	α	β	γ	δ			
正常先 ①	1,735	4		2	4	0.2%		100.0%
要注意先 うちその他 要注意先 ②	156	19	0	18	19	12.2%	0.0%	100.0%
要注意先 うち 要管理先 ③	1	1	0	1	1	100.0%	0.0%	100.0%
破綻懸念先 ④	17	5	0	5	5	29.4%	0.0%	100.0%
実質破綻先 ⑤	18	1	0	1	1	5.6%	0.0%	100.0%
破綻先 ⑥	13	0	0	0	0	0.0%	-	-
小計 (②～⑥の計)	205	26	0	25	26	12.7%	0.0%	100.0%
合計	1,940	30	0	27	30	1.5%	0.0%	100.0%